



教育目標：よりよい未来を創り出そうとする児童の育成
～なりたい自分・仲間・学校になるためにチャレンジ～

令和7年11月14日



東陵小だより

東陵小 HP

発行者 校長 深澤 弘美

11月4日 学校公開へのご参加ありがとうございました

3連休明けの火曜日だったにもかかわらず、たくさんの保護者の方にご来校いただき、感謝しております。

「持久走大会」では、力強く温かい声援が子どもたちの最後まで頑張る力を引き出してくださいました。頑張ったことへの満足感を持てた子どもが多かったようです。

「学校会議&学校保健委員会」では、子ども達の力で会を作っている姿、学年の枠を越えて話し合ったり発表したりしている姿を見ていただくことができました。授業参観とはまた違った子ども達の様子が伝わったのではないかと考えております。会議で決めた「東陵メディア3か条」については、テトルで3～6年生の保護者に「保健だより」として送信しました。各ご家庭でもこの機会に「東陵メディア3か条」について、お子さんと話し合っていたいただき、上手にメディアと付き合うことができる東陵っ子を、学校と家庭とで連携して育てていきましょう。



～ スマホを持つということ 「東陵メディア3か条」によせて ～

スマホの登場で、仕事や生活において圧倒的な便利さと効率性がもたらされたのは間違いありません。一方で、人類が発明してきたこれまでの道具との大きな違いは、インターネットとの接続を通じて、私たちの意思決定や行動を巧みに操ろうとする人たちの影響を受けやすいということです。

その意味で、スマホを手取ることは、都会や街に飛び出す行為と同じなのかもしれません。つまり、どんな出会いがあるかわからない。ワクワクする出会いや楽しい出来事が待っているかもしれないし、逆に危険な目に遭わないとも限りません。

リアルで街に出かけるときは、誰もが身なりを整え、多少の防犯意識を携えて、注意しながら歩いているはずです。

ところが、スマホを手取るときは無防備になりがちです。いつも手の中にあり体の一部のような感覚があるからか、自分の身を守るすべを持たないまま、デジタル社会に飛び出してしまうのです。まるで、裸のまま街に出るようなものです（THE21 12月号引用）。

スマホを持つことが前提となっているような社会で生きていくためには、大人も子どもも安全に使うことについて考え続け、話し合う労をいとわないことが必要なのではないのでしょうか。「東陵メディア3か条」をそのきっかけとしていただけると幸いです。

ご協力をお願いいたします

★ 忘れ物について

下校後や休日に「忘れ物を取りにきました。」と児童が学校に来ることが頻繁にあります。各学級で「下校後に忘れ物（宿題など）を取りに来ない。」ことを指導しました。帰りの会では忘れ物がないかの声掛けをして帰宅させていますので、下校後や休日に忘れ物を取りに来るのはご遠慮ください（宿題のドリルやプリントを忘れても取りに来なくて大丈夫です。ご家庭でも忘れ物をしないための方法、宿題等を持って帰らなかったとき他の方法はないかをお子様と一緒に考えていただけると助かります）。

どうしても必要な物の場合（薬や家の鍵など）は、この限りではありません。職員玄関のインターホンでお伝えください、対応いたします。

放課後の時間は教職員にとって、授業準備など教育活動を充実させるための大切な時間でもあります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

★ 欠席の連絡について

これまで、欠席・遅刻等の連絡は連絡帳または電話でしていただいております。連絡帳・電話に加え、テトルでのご連絡も可能といたします。テトルで連絡をされる場合は、8時10分までに、できるだけ詳細に理由を記入し送信してください。8時10分を過ぎても児童の登校・欠席が確認できない場合は、学校から緊急連絡先にお電話させていただきます。また、テトルを確認しても詳細がわからない場合、電話で詳しい状況をお聞きする場合があります。

なお、急な早退や下校先の変更など、日中に学校へご連絡いただく際には、お電話でのご連絡をお願いいたします。日中は、テトルに入力されてもタイミングよく確認できない場合があります、ご迷惑をおかけすることもありますので、ご協力をお願いいたします。